

就活クエスト in OSAKA 2022 第1弾 実施報告

テ ー マ: IT 企業『文系でも IT 企業で活躍できるって本当?!』
実施日時: 2022(令和4)年 11 月 12 日(土)13:00~16:00
実施場所: キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階)
講 師: トンガルマン株式会社 アカウントプランナー 大淵 まき子氏
取締役 CTO 村松 卓宏氏
ファシリテーター: 大阪樟蔭女子大学 学芸学部 講師 高松 直紀氏
(大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員)
参加学生数: 6 大学 11 名(会員外 1 大学 1 名を含む)
(大学別) 大阪経済大学 2 名/大阪工業大学 1 名/大阪商業大学 2 名/四天王寺大学 1 名
大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 4 名/京都女子大学(会員外)1 名
(学年別) 1 年生:2 名/2 年生:2 名/3 年生:6 名/4 年生:1 名
企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 キャリア支援部会 インターンシップ推進委員会

1.事業趣旨

本プログラムを通じて、バラエティに富んだ体験・成長のための表現(アウトプット)機会を提供し、学生における学修の深化および新たな学習意欲、そして低年次より自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する。それにより、将来に対する選択肢の増幅および多角的・俯瞰的視点の獲得、自己理解に基づく主体的な職業選択や高い職業意識の涵養をはかり、ひいては自主性・独創性あるグローバル人材の育成に貢献することを目指す。また、大阪商工会議所との連携のもと、プログラムを通じて学生が大阪の産業構造を知り、府内の中小企業の魅力に触れる機会を提供する。

2.プログラム概要

日程	会場	内容
11 月 12 日(土) 13:00~16:00	キャンパスポート大阪	・プログラム趣旨説明 ・企業講演「文系でも IT 業界で活躍できるって本当?!」 ・質疑応答 ・グループワークと発表・フィードバック 「理系の思考法“トリプルシンキング”体験」 ・総括 ・参加証授与

3.講演概要

トンガルマン株式会社の中には大きく4つのグループ(アカウント、ディレクター、システム、クリエイティブ)があり、それぞれ企画営業、制作進行・管理、開発、制作の各分野を担っている。仕事はクライアントと仲良くなることから始まり、納品がゴール。このフローを各グループが協力しながら行っている。これまでに岡山市における桃鉄を絡めた Web コンテンツや大阪駅にあるサイネージ他、ファッション、テーマパーク、大学、自治体など様々な分野、企業・団体、地域にて CG や VR を生かしたコンテンツを手掛けてきた。ひとつの仕事を完成させるまでには、検討事項をピックアップし、世の中の事例を調べたうえでアイデアを組み合

わせて複数の提案を行い、方向性を決定し、様々な要素を検討のうえ見せ方等を工夫し、試作とテストを繰り返すといった工程があり、地道な努力が話題性を呼ぶ等の成功に繋がる。

IT 業界の市場は今後も伸びていくとみている。IT 企業への就職率としては理系が多い印象だが、トンガルマン株式会社では理系の割合は決して高くなく、完全文系寄りのメンバーも 3 割程度在籍している。社内では、文系でもやっていけるという意見も多い。大淵氏自身も学生時代の学科によって今の仕事をしているわけではなく、必要な能力は、仕事をしていくことで身につけることができると考えている。大淵氏は当初、少し特殊な広告代理店で働いていたが、健康診断での検査結果をきっかけに死を意識し「もっといろいろなことに挑戦したい」という気持ちで現職に転職した。失敗することもあったが、すべてはチャレンジした結果の経験であり成功のための精度をあげていく過程。チャレンジするという行動に意味がある。「やってみたいかも」という気持ちを大切にしてほしい。

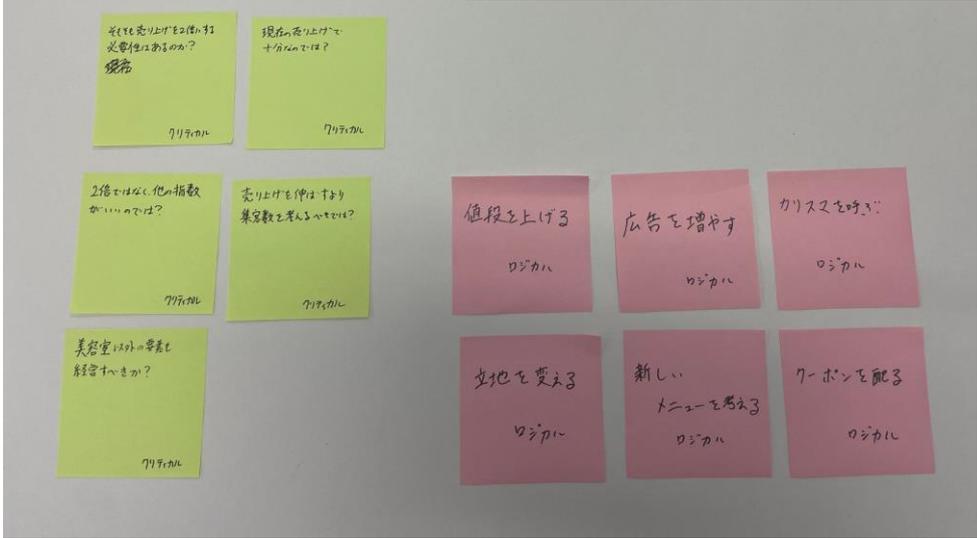
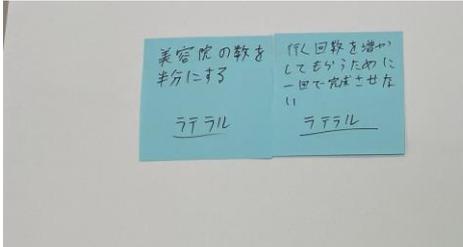
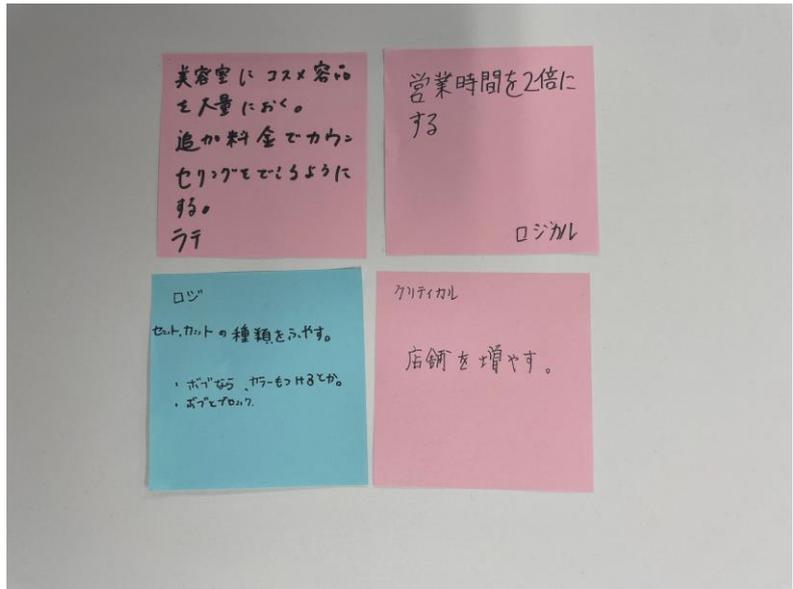
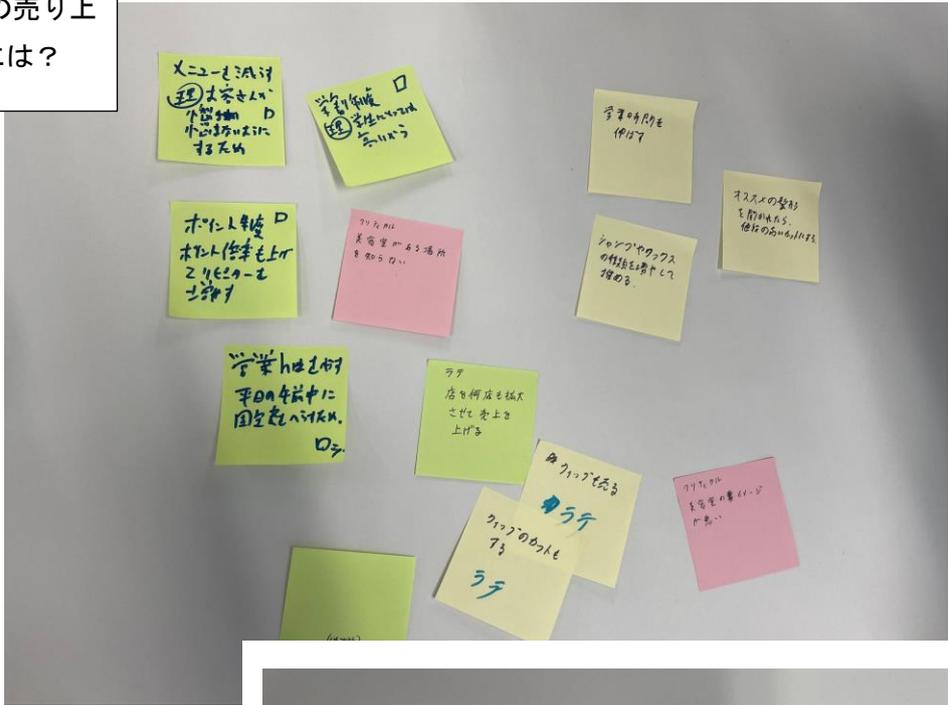
4. 当日の様子



5. 参加者アンケート 別紙のとおり

6. 参考：グループワーク成果物

テーマ 1. 美容室の売り上げを2倍にするには？



就活クエスト in Osaka 2022 第1弾 参加者アンケート

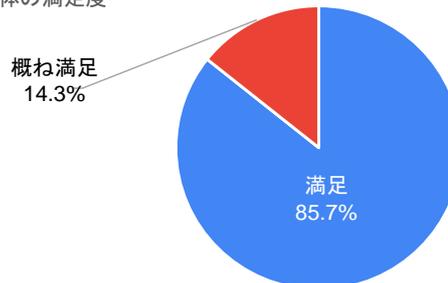
参加者数 6大学11名(回答者数7名)(会員外1名を含む)

1. プログラム全体の満足度

(単位:名)

満足	6
概ね満足	1
満足できない点があった	0
不満	0

プログラム全体の満足度



2. 上記と回答した理由

【満足】

- ・IT企業についての深い知識を得ることができた。
- ・IT業界についての私が持っているイメージが良い意味で崩れた。視野が広がったことで今後も業界について積極的に調べたいと思った。
- ・ITについて知ることができ、グループワークでは自分の強みや今後の課題などを知ることができたから。
- ・初対面の方々と楽しく交流できたので、すごく満足したプログラムだった。
- ・積極的に作業を行う場面などがあり、聞いているだけではなかったので楽しく受けることができた。

【概ね満足】

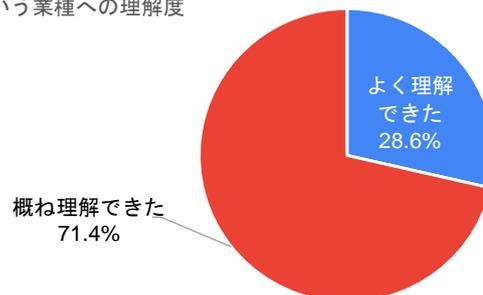
- ・もう少し、様々な業務内容を知りたかった。

3.IT企業という業種への理解度

(単位:名)

よく理解できた	2
概ね理解できた	5
理解できない点があった	0
あまり理解できなかった	0

IT企業という業種への理解度



4. 上記と回答した理由

【よく理解できた】

- ・今回のテーマが文系でもIT企業に行けるかどうかだったので、とても分かりやすく教えてくださいました。
- ・IT業界だからといって、機械が絶対的にできる必要はなく、文系でも活躍できることを知れた。

【概ね理解できた】

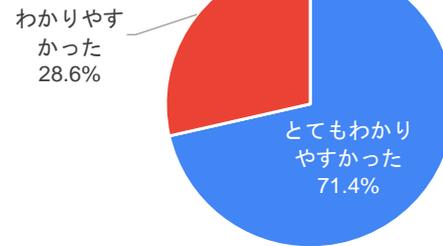
- ・漠然としていたものが、少し具体化した。
- ・IT業界というものをよく分かっていなかったため、今回の企業講演で概ね理解できた。
- ・身近な場所でITの知識を利用して、ものを作成していることを知り、普段何気ない所でITが利用されていることを肌で感じた。
- ・IT業界の知識がほぼ皆無だったので、実際に動画などを見てイメージが湧いた。しかし、詳しく知れたわけではないので、この機会に調べようと思った。
- ・もう少し、掘り下げてほしかった。

5.講師（企業側）の話はわかりやすかったか

(単位:名)

とてもわかりやすかった	5
わかりやすかった	2
わかりにくいところがあった	0
わかりにくかった	0

講師（企業側）の話はわかりやすかったか



6.企業（トンガルマン）はどんな会社だと思うか

- ・女性が要職につける、とてもやりがいのある会社だと思った。
- ・少数でアットホーム、人と人との仲がよいと感じた。
- ・自由でアクティブな会社だと思った。
- ・すぐマルチに幅広く仕事をしている会社だと思った。働いていて毎日刺激的なことが起こりそうだった。
- ・4種類のグループに分かれており、それぞれが得意な両分を理解し合いつつ団結力が強い企業だと感じた。
- ・ITを駆使して、時代の風潮に合わせた取り組みを実施していると思った。失敗を恐れず、前に向けて挑戦し続けている会社だと思った。
- ・デザイン面でIT業界で活躍する会社。

7.グループワーク（トリプルシンキング）は今後の役に立つと思うか

(単位:名)

そう思う	7
どちらかといえばそう思う	0
どちらかといえばそう思わない	0
そう思わない	0

グループワーク（トリプルシンキング）は今後の役に立つと思うか



8.上記と回答した理由

【そう思う】

- ・自分の発想を広げてくれたと思うから。
- ・ラテラルシンキングは行ったことがなかったので、よい経験になった。
- ・初めて使ったが、多角的な視点でアイデアが出せたから。
- ・グループワークのよさである自分の意見との相違を感じたし、初対面の方と仲良くできたので、すごく楽しい時間だった。
- ・就職活動をしていく中で、グループディスカッションが企業の評価の対象になると思う。また仕事をしていく中で必要だと思うので、今のうちに学べてよかった。
- ・自分がどの思考方法に当てはまっているのか、反対にどこが弱いのかを理解することができ、今後の課題が見えてきたから。
- ・就活でも様々な角度から物事を考えることは、非常に重要になる要素だと思うから。
- ・様々な人と交流できて楽しかった。色々な意見が聞けてとても有意義だった。

9. 今回のプログラムで最も関心が高かったこと(興味を持ったこと)

- ・グループワーク(2名)
- ・VRの技術
- ・理系の知識がなくても、企画立案や開発に積極的に挑戦できること。

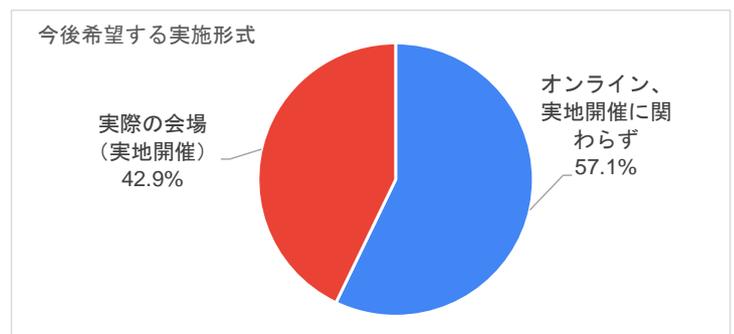
10. その他、プログラムの感想・意見

- ・グループのアイデアは、はじめはなかなか出なかったが、やっているとお少しずつ頭が柔軟になったと思った。

11. 今後希望する実施形式

(単位:名)

オンライン、実地開催に関わらず	4
実際の会場(実地開催)	3
オンライン	0



12. 上記と回答した理由

【オンライン・実地開催に関わらず】

- ・興味があるものはなるべく参加したいから。
- ・オンラインだと楽だが、実地開催だと雰囲気もあるから。
- ・場所は問わずイベントに参加することに意味があり、自分自身を成長させてくれると思っているから。
- ・オンラインでも参加しておくことで、オンライン面接の時にできる限り失敗しないようにしておきたいから。

【実際の会場(実地開催)を希望】

- ・対面の方が話を聞く際やグループワークが行いやすい。
- ・実際に人と会うことで、オンラインより人との距離を縮めることができると思ったので。
- ・オンラインでは現場の雰囲気が味わえないので。

13. 今後、取り上げてほしい業界や職種

- ・メディア関連
- ・食品業界
- ・金融業界